

11. インターネットとマルチメディア社会

「総務省 情報通信白書」 <http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/whitepaper/ja/h19/e-Japan> 戦略 (2001年) 「2005年までに世界最先端のIT国家となる」
u-Japan 政策 (2004年) 「ユビキタスネット社会の実現—いつでも、どこでも、誰でも」

(1) インターネットの普及状況

日本のインターネット人口 _____ 万人 (2006年12月現在) (普及率 _____ %)

世界のインターネット人口 _____ 万人 (2005年12月現在) (普及率 _____ %)

日本のブロードバンド加入者数 (2006年12月現在)

合計契約数 _____ 万件 → ADSL (_____ 万) CATV (_____ 万) FTTH (_____ 万)

端末別の利用人口 (2006年12月現在)

合計利用者 _____ 万人 → パソコンから (_____ 万) 携帯電話・PHSから (_____ 万)

(2) デジタルディバイド (Digital divide)

地域別格差 上位3県 東京 (_____ %) 神奈川 (_____ %) 千葉 (_____ %)

下位3県 青森 (_____ %) 高知 (_____ %) 鹿児島 (_____ %)

年代別格差 10~40代 (_____ %) 50代 (_____ %) 60代 (_____ %)

年収別格差

~200万 (_____ %) ~400万 (_____ %) ~800万 (_____ %) 800以上 (_____ %)

男女別格差 男性 (_____ %) 女性 (_____ %)

国別格差 (_____ %) の高所得国が、世界のインターネットの (_____ %) を利用

(3) ビジネスへの利用 …… 電子商取引 (Electronic Commerce) → BとCの連携

B to C

C to C

B to B

(4) 変わる社会生活

① 売り方・買い方が変わる (デジタルデータの切り売り)

② 広告が変わる (インターネット広告)

- ・アドワーズ広告
- ・アドセンス広告

③ 銀行が変わる

- ・ホームバンキング
- ・インターネット銀行

④ 教育が変わる (eラーニング)

WIDE 大学 SOI (school of internet)

⑤ 生活スタイルや働き方が変わる

SOHO (Small office Home office)